

平成 16 年度の科学技術振興調整費の基本的考え方等について

平成 15 年 12 月 26 日

1. 平成 16 年度科学技術振興調整費のねらい

科学技術振興調整費は、総合科学技術会議の方針に基づき、我が国全体の科学技術に関する施策を俯瞰した上で、機動的かつ戦略的に活用する資金。

平成 16 年度は第 2 期科学技術基本計画の 4 年度目であることから、同計画が掲げる科学技術システム改革等の目標の達成を目指し、また、国民や社会に対し、更に質の高い研究成果を提供していくため、以下の事項に重点を置いてプログラムを実施。

- ・ 国家的・社会的な重要課題への取組
- ・ 科学技術システム改革の更なる加速
- ・ 科学技術関係人材育成の強化・充実

2. 「平成 16 年度の科学技術振興調整費の配分の基本的考え方」(案)

- (1) 必要な継続分の実施(約 279 億円)に加え、以下のとおりプログラムを追加・改定。(新規選定分 107 億円)(別添及び資料 4 - 2 参照)

「競争的研究資金配分機関構築支援」(新規)

プログラムオフィサー等の資質向上のための海外研修や国内セミナーを支援。

「重要課題解決型研究等の推進」(新規)

国家的・社会的に重要な政策課題であって、単独の府省では対処が困難であり、政府として速やかに取り組むべき課題について、産学官の複数の研究開発機関による総合的な推進体制の下で、具体的な研究開発を推進。

(公募する政策目標及び課題の例)

政策目標：安心・安全で快適な社会の構築

課 題：新興・再興感染症に関する研究開発

交通事故対策技術の研究開発

障害者支援に資する研究開発

等

「戦略的研究拠点育成」、「新興分野人材育成」については、対象分野等を明示して募集、効果的な運用。

- (2) なお、文部科学省において、科学技術振興調整費で実施した研究課題の中間・事後評価を実施し、この結果も 16 年度の配分に反映(評価対象課題は 101 課題。中間評価課題のうち 3 課題については研究中止)。

3. 今後の取組

重視すべき分野、領域等を考慮した概算等を示すため、平成 16 年 2 月を目途に「平成 16 年度の科学技術振興調整費の配分方針」を作成。

平成16年度科学技術振興調整費予算案

(単位：億円)

プログラム名	16年度 予算案	うち16年度 新規選定分
16年度新規プログラム		
(1) 競争的研究資金配分機関構築支援 プログラムオフィサーの海外研修、国内セミナーの支援	1	1
(2) 重要課題解決型研究等の推進 重要課題解決型研究の推進 (政策目標1) 研究基盤の強化による国力の充実 (政策目標2) 国際競争力の確保・強化による経済の活性化 (政策目標3) 安心・安全で快適な社会の構築 科学技術政策に必要な調査研究	45	45
16年度に継続して実施するプログラム		
(1) 産学官共同研究の効果的な推進	53	15
(2) 戦略的研究拠点育成	95	25
(3) 新興分野人材養成 大学院修士課程相当のもの バイオインフォマティクス、基盤的ソフトウェア等 企業等の研究者・技術者の再教育を行うもの	47	15
(4) 緊急に対応を必要とする研究開発等	3	3
(5) 国際的リーダーシップの確保 我が国の科学技術活動の国際的リーダーシップの確保 政府間合意に基づく重要課題協力の機動的推進	6	3
経過措置等	136	-
・新規課題等の募集を終了したプログラム及び廃止プログラムの継続分 平成15年度をもって「若手任期付研究員支援」、「科学技術政策提言」、「先導的研究等の推進」の各プログラムを廃止		
・評価の実施・成果の普及		
合計	386	107

下線は16年度に新たに追加されたプログラム